

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ＝留萌市における結果の概要＝

I 調査の概要

1 調査の目的

- (1) 国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査対象

- (1) 小学生調査 小学校第5学年（留萌市調査実施児童 男子 74名 女子 62名）
- (2) 中学校調査 中学校第2学年（留萌市調査実施生徒 男子 62名 女子 59名）

3 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（測定方法等は新体力テストと同様）

・小学校調査

〔8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

・中学校調査

〔8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、持久走（男子1500m、女子1000m）、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※20mシャトルランか持久走のどちらかを選択

イ 質問紙調査

- ・運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

- ・子どもの体力の向上に係る取組等に関する質問紙調査

4 調査実施日

令和4年4月から7月まで

※ 備考

○「Ⅲ 児童生徒質問紙の調査結果の概要」における全国平均等との差を表す基準について

- | | | | |
|-------|------|------|-------|
| ・7%以上 | | 相当多い | 相当少ない |
| ・5%以上 | 7%未満 | 多い | 少ない |
| ・3%以上 | 5%未満 | やや多い | やや少ない |

II 実技に関する調査結果の概要

1 用語解説と説明

体力テスト種目	体力要素	測定
握力	筋力	左右握力の平均値
上体起こし	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
長座体前屈	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
反復横とび	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
20mシャトルラン	全身持久力	20m走行の折り返し回数
(中)持久走	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間
50m走	疾走能力	50mの疾走時間
立ち幅とび	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
(小)ソフトボール投げ (中)ハンドボール投げ	巧緻性・投球能力	遠投した距離
体力合計点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点(80点満点)	
総合評価	8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価	

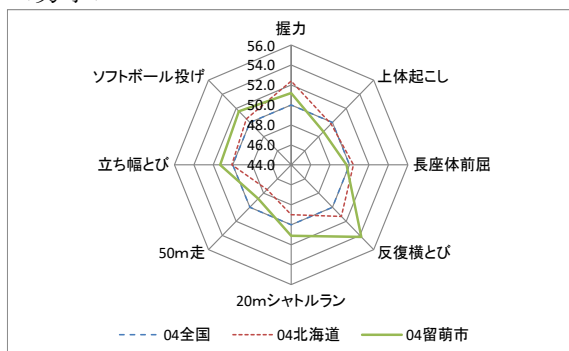
※(小)は小学校、(中)は中学校

用語	解説
標本数	・平均値、標準偏差、T得点(※)を算出した人数
平均値	・調査結果(テスト成績)の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値=調査結果の総和/標本数」
標準偏差	・調査結果の分布の広がりを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 ・平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。(いずれも正規分布の場合) 「標準偏差=分散の平方根、分散=偏差平方和/(標本数-1)、 偏差平方和=偏差の平方の総和、偏差=調査結果-平均値」
体力合計点	・実技テスト項目における得点の合計
T得点(※)	・全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する平均値50点、標準偏差10点の標準得点。 「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」

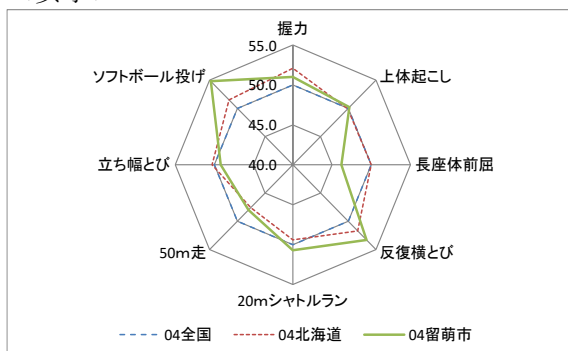
2 小学校5年生の結果概要

(1) 各種目の結果(全国を50とした時のT得点をレーダーチャートで表示)

<男子>

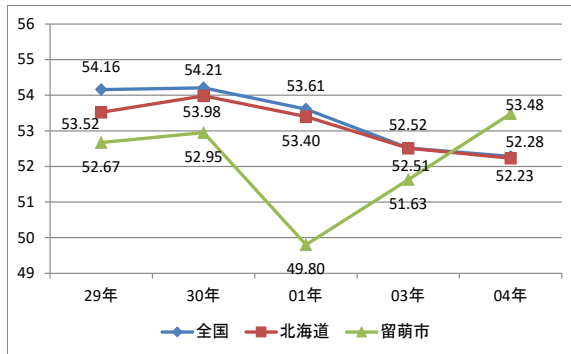


<女子>

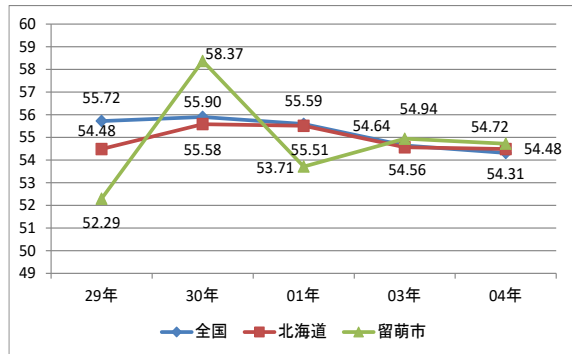


(2) 体力合計点 (平均値) の推移

<男子>

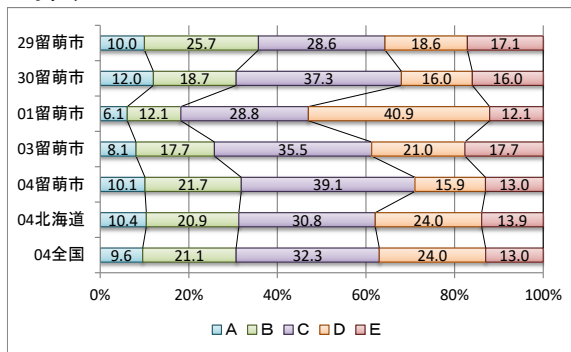


<女子>

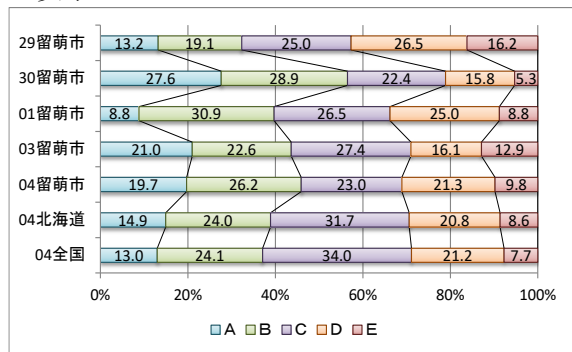


(3) 総合評価の推移

<男子>



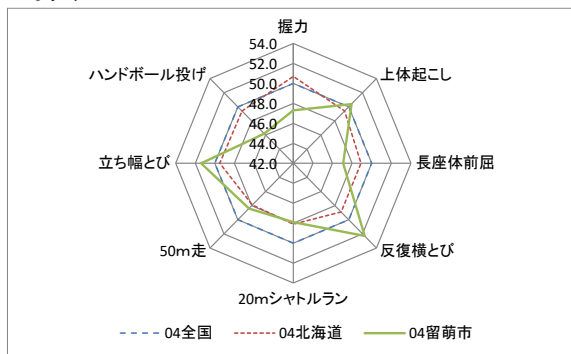
<女子>



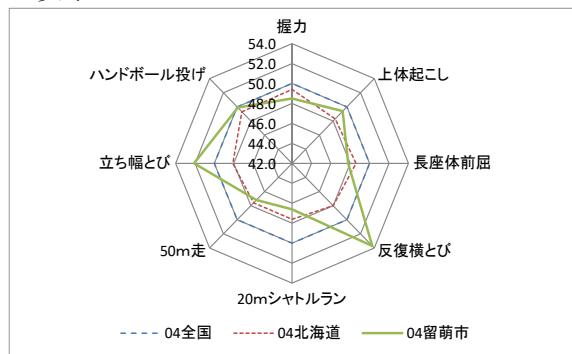
3 中学校2年生の結果概要

(1) 各種目の結果 (全国を50とした時のT得点をレーダーチャートで表示)

<男子>

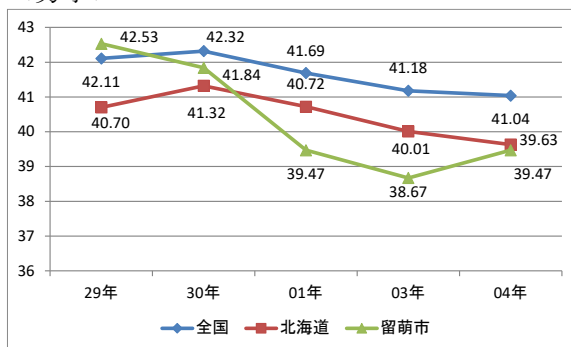


<女子>

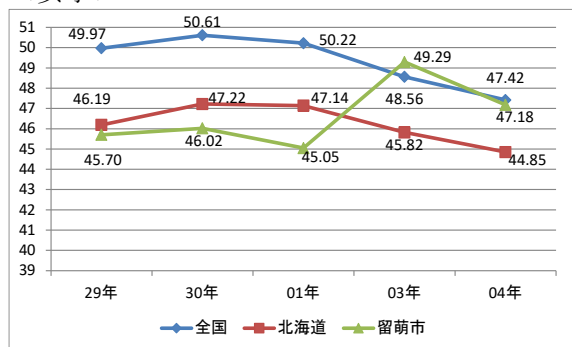


(2) 体力合計点 (平均値) の推移

<男子>

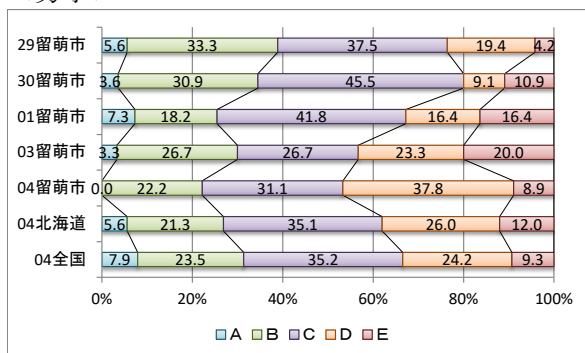


<女子>

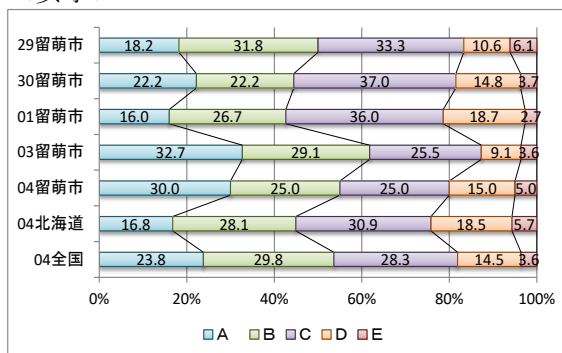


3) 総合評価の推移

<男子>



<女子>



【小学校】

○各種目

- 男子は、「反復横とび」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」が全国及び全道平均を上回り、「握力」は全国平均を上回ったが、全道平均を下回った。「50m走」は全国平均を下回ったが、全道平均を上回った。「上体起こし」「長座体前屈」は全国及び全道平均を下回った。
- 女子は、「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」が全国及び全道平均を上回り、「握力」は全国平均を上回ったが、全道平均を下回った。「50m走」は全国平均を下回ったが、全道平均を上回った。「長座体前屈」「立ち幅とび」は全国及び全道平均を下回った。

○体力合計点（平均値）・総合評価

- 体力合計点は、男子は、全国平均を1.2ポイント、全道平均を1.25ポイント上回った。女子は、全国平均を0.41ポイント、全道平均を0.24ポイント上回った。
- 総合評価は、男子は、A・B層の割合は03年度より多く、全国及び全道のA・B層の割合と同程度である。女子は、A・B層の割合は03年度と同程度であり、全国及び全道のA・B層の割合より相当多い。

【中学校】

○各種目

- 男子は、「上体起こし」「反復横とび」「立ち幅とび」が全国及び全道平均を上回った。「50m走」は全国平均を下回ったが、全道平均を上回った。「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「ハンドボール投げ」は全国及び全道平均を下回った。
- 女子は、「反復横とび」「立ち幅とび」が全国及び全道平均を上回った。「上体起こし」「ハンドボール投げ」は全国平均を下回ったが、全道平均を上回った。「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」は全国及び全道平均を下回った。

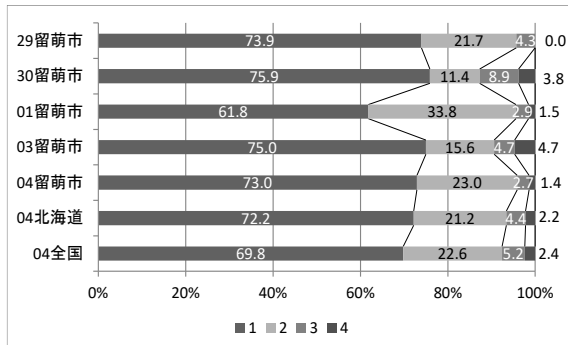
○体力合計点（平均値）・総合評価

- 体力合計点は、男子は、全国平均を1.57ポイント、全道平均を0.16ポイント下回った。女子は、全国平均を0.24ポイント下回り、全道平均を2.33ポイント上回った。
- 総合評価は、男子は、A・B層の割合は03年度より相当少ない。全国のA・B層の割合と比べても相当少なく、全道よりも少ない。女子は、A・B層の割合は03年度より低く、全国のA・B層の割合と同程度であり、全道より相当多い。

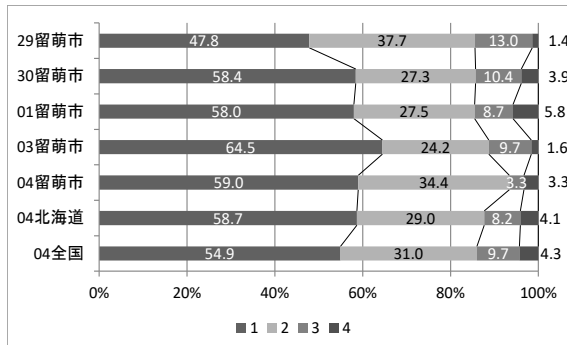
Ⅲ 児童生徒質問紙の調査結果の概要

質問1	運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。
	1 好き 2 やや好き 3 やや嫌い 4 嫌い

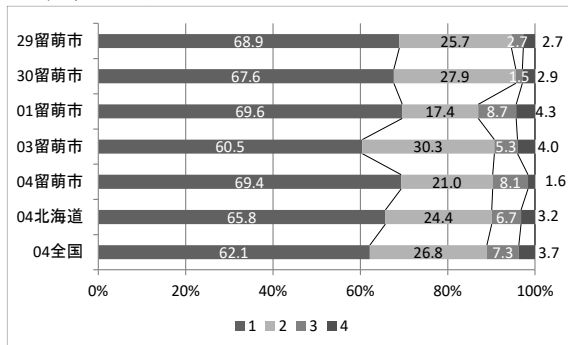
<小学生・男子>



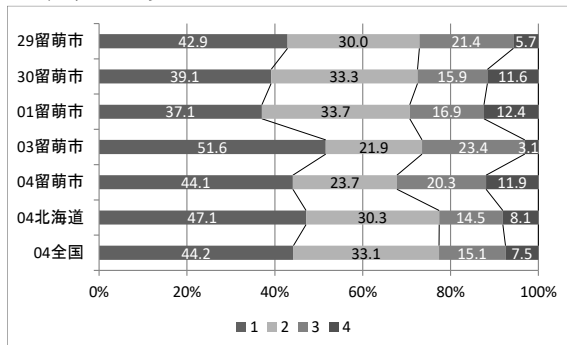
<小学生・女子>



<中学生・男子>

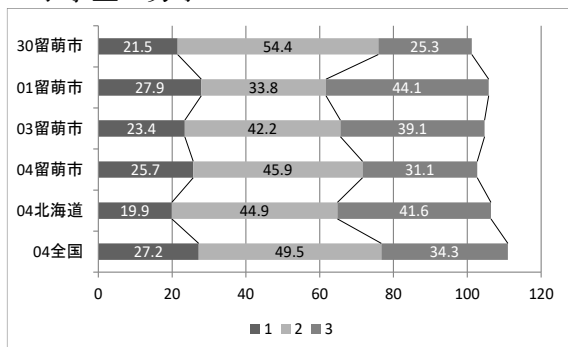


<中学生・女子>

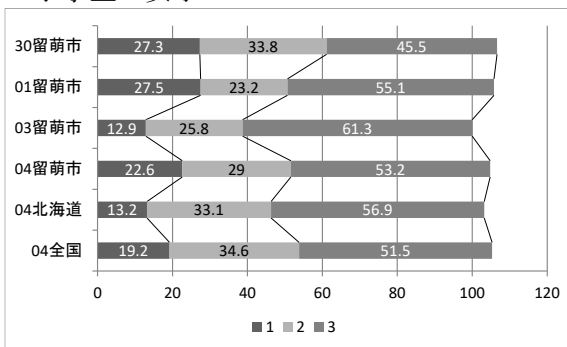


質問2	学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていますか。（スポーツ少年団をふくみます。）当てはまるものをすべて選んでください。（複数回答可）
	(小) 1 運動部 2 地域のスポーツクラブ 3 入っていない

<小学生・男子>

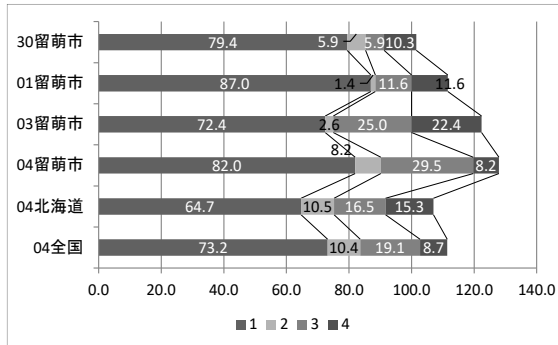


<小学生・女子>

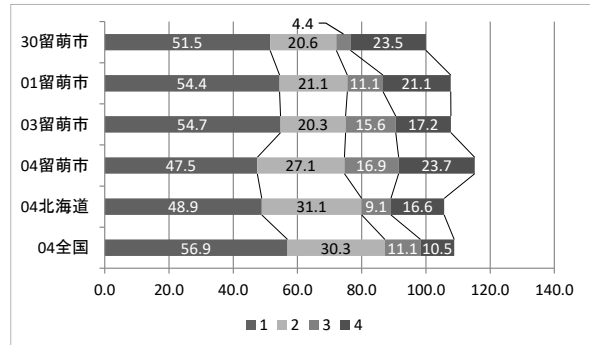


質問2	学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)
(中)	1 運動部 2 文化部 3 地域のスポーツクラブ 4 所属していない

<中学生・男子>

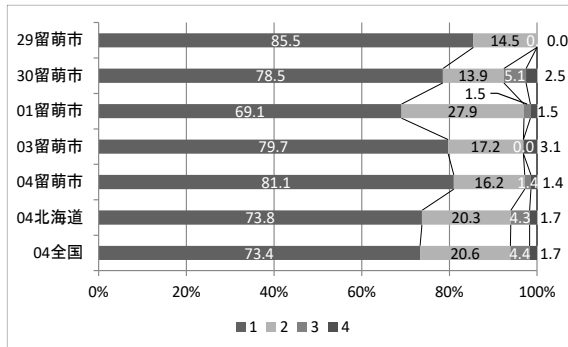


<中学生・女子>

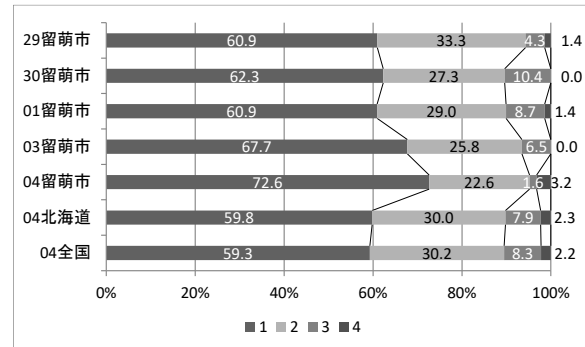


質問3	体育〔保健体育〕の授業は楽しいですか。
	1 楽しい 2 やや楽しい 3 あまり楽しくない 4 楽しくない

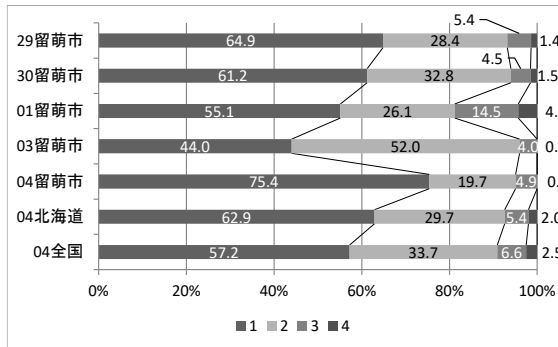
<小学生・男子>



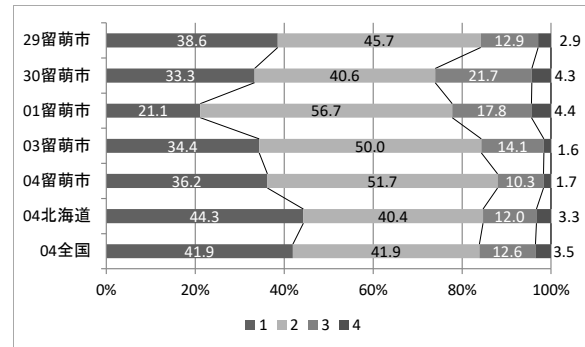
<小学生・女子>



<中学生・男子>

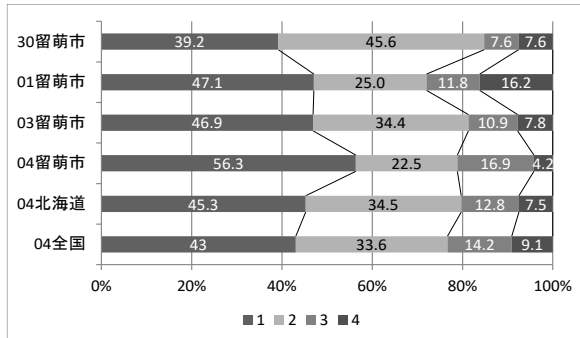


<中学生・女子>

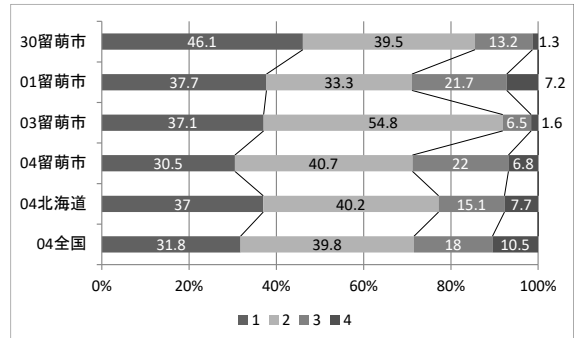


質問4	放課後や学校が休みの日に運動部〔運動部活動〕や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがありますか。
	1 よくある 2 時々ある 3 あまりない 4 全くない

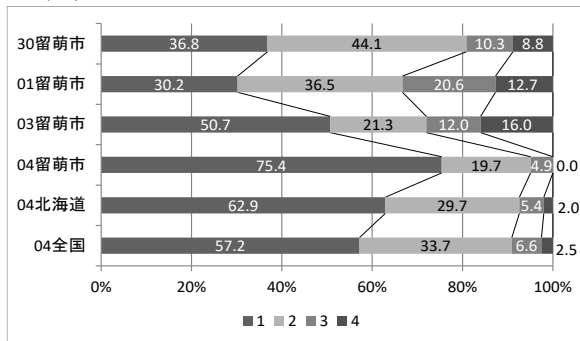
<小学生・男子>



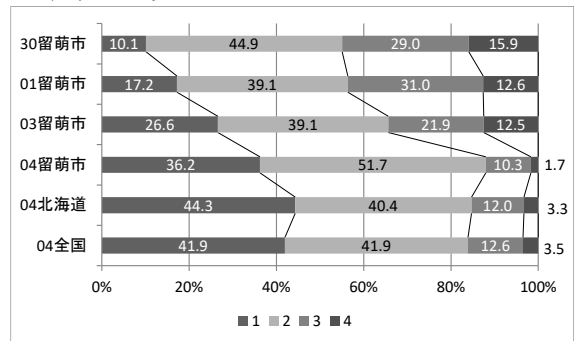
<小学生・女子>



<中学生・男子>

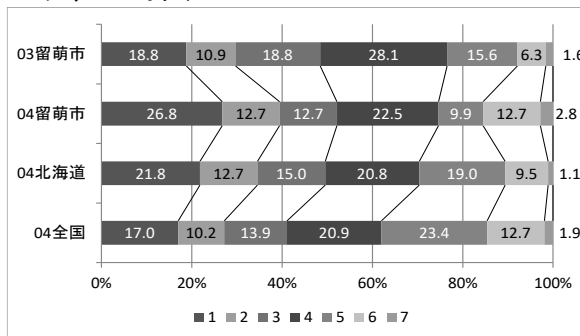


<中学生・女子>

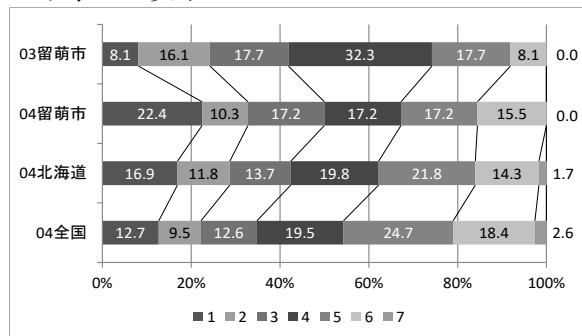


質問5	平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。
	1 5時間以上 2 4時間以上5時間未満 3 3時間以上4時間未満 4 2時間以上3時間未満 5 1時間以上2時間未満 6 1時間未満 7 全く見ない

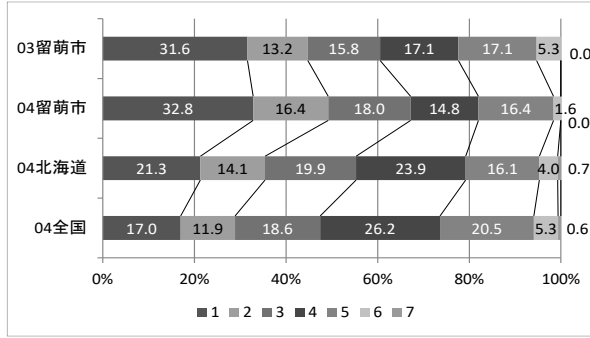
<小学生・男子>



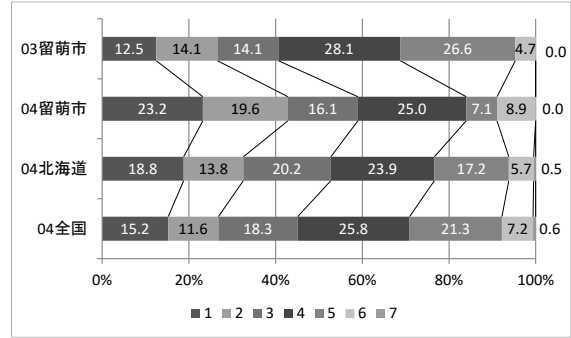
<小学生・女子>



< 中学生・男子 >



< 中学生・女子 >



【小学校】

- ・運動やスポーツをすることが好きと肯定的に回答した児童の割合は、男子は全国よりやや多く、03年度より多い。女子は全国より相当多く、03年度よりやや多い。
- ・学校の運動部に入っている児童の割合は、男子は全国、03年度と同程度である。女子は全国よりやや多く、03年度より相当多い。また、地域のスポーツクラブに所属している児童は、男子は全国よりやや少なく、03年度よりやや多い。女子は全国より少なく、03年度よりやや多い。
- ・体育の授業は楽しいと肯定的に回答した児童の割合は、男子は全国よりやや多く、03年度と同程度である。女子は全国より多く、03年度と同程度である。
- ・放課後や学校が休みの日に運動部活動等以外で運動やスポーツをする児童の割合は、男子は全国、03年度と同程度である。女子は全国と同程度であり、03年度より相当低い。
- ・平日に1日に3時間以上テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている児童の割合は、男子は全国より相当多く、03年度よりやや多い。女子は全国と比べ相当多く、03年度より相当多い。

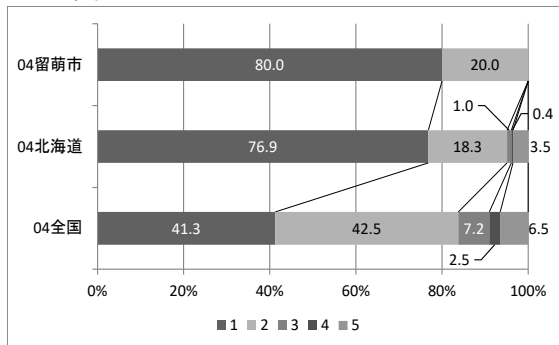
【中学校】

- ・運動やスポーツをすることが好きと肯定的に回答した生徒の割合は、男子は全国、03年度と同程度である。女子は全国より相当低く、03年度よりも低い。
- ・部活動として運動部に所属している生徒の割合は、男子は全国、03年度より相当多い。女子は全国、03年度より相当低い。また、地域のスポーツクラブに所属している生徒は、男子は全国より相当多く、03年度よりやや多い。女子は全国より多く、03年度と同程度である。
- ・体育の授業は楽しいと肯定的に回答した生徒の割合は、男子は全国よりやや多く、03年度と同程度である。女子は全国、03年度よりやや多い。
- ・放課後や学校が休みの日に運動部活動等以外で運動やスポーツをする生徒の割合は、男子は全国よりやや多く、03年度より相当多い。女子は全国よりやや多く、03年度より相当多い。
- ・平日に1日に3時間以上テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている生徒の割合は、男子は全国より相当多く、03年度より多い。女子は全国及び03年度より相当多い。

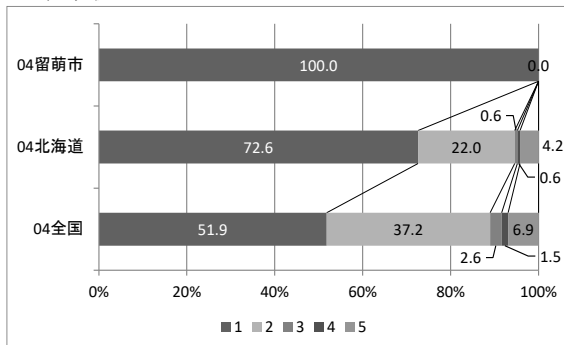
IV 学校質問紙の調査結果の概要

質問 1	令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行いましたか（行う予定ですか）。
	1 行った 2 行う予定である 3 特定の学年のみ行った 4 特定の学年のみ行う予定である 5 行わない（行う予定はない）

<小学校>

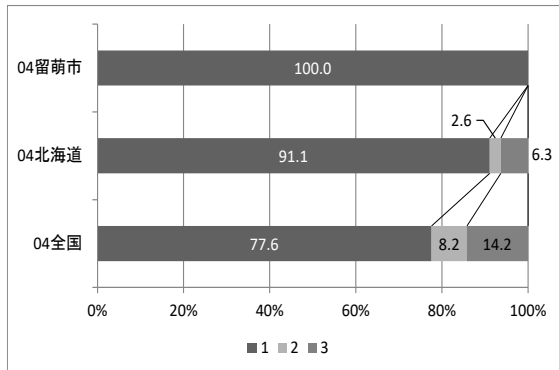


<中学校>

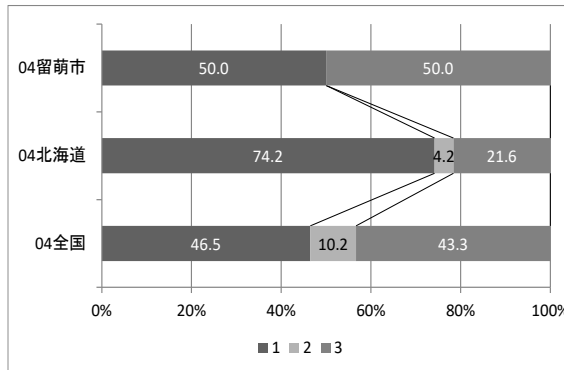


質問 2	令和3年度に、体育〔保健体育〕の授業以外で、全ての児童〔生徒〕の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。
	1 全ての児童／生徒に対して行った 2 一部の学年の児童／生徒に対して行った 3 行っていない

<小学校>

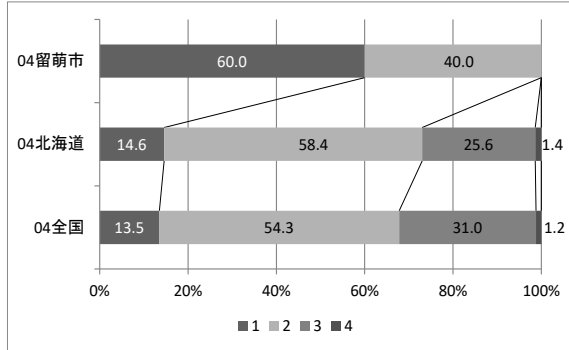


<中学校>

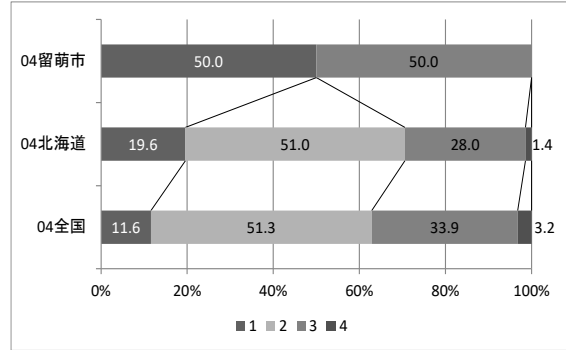


質問3	教師は、自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映させるために校内外の研修や研究会のような取組に、積極的に参加していますか。
	1 よくしている 2 どちらかといえばしている 3 あまりしていない 4 全くしていない

<小学校>

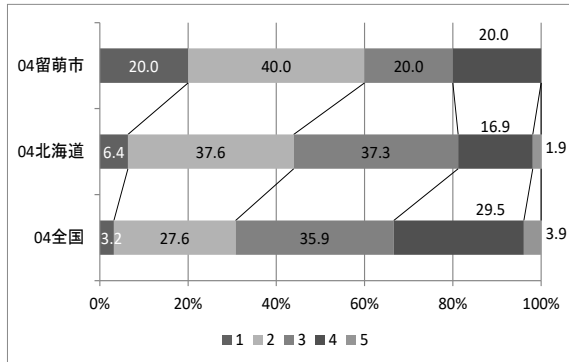


<中学校>

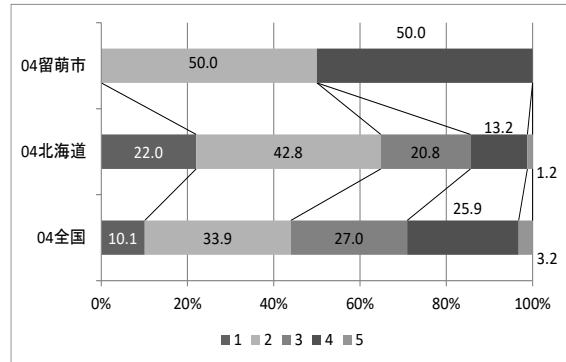


質問4	体育／保健体育の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか
	1 毎時間活用している 2 週に1時間程度活用している 3 月に1時間程度活用している 4 年に数時間程度活用している 5 ICTを活用していない

<小学校>



<中学校>



【小・中学校】	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善は、予定を含めて、全ての小中学校で行われている。 体育〔保健体育〕の授業以外の児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組は、全ての小中学校で行われているが、一部の中学校では特定の学年のみの取組となっている。 体力・運動能力を向上させるための研修や研究会等への積極的な参加は、小学校ではなされているが、一部の中学校ではあまりなされていない。 体育〔保健体育〕の授業におけるICTの活用については、毎時間、あるいは週に1時間程度以上と回答した割合が、小学校では全国・全道より相当多い。中学校では全国より多いが、全道より相当少ない。
----------------	---

V おわりに

体力は、あらゆる活動の源として、健康維持のほか、意欲や気力の充実にも大きくかかわっており、子どもたちが生涯にわたって心身ともに健やかに生きるための基盤となるものです。そのため、幼児期から運動に親しむ資質や能力を育成し、体力及び運動能力の向上に努めることが大切になります。

この「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」は、全国的な児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等を把握・分析することにより、国や各教育委員会、各学校が課題を共有し、体力向上・健康増進に向けた教育活動の改善に役立てていくことを目的としています。各学校においては、新体力テストや質問紙調査などの結果を踏まえ、体育（保健体育）科年間指導計画や体力・運動能力向上プランの見直しを図るとともに、体育的活動や授業改善に活用するなど、体力・運動能力向上に向けた検証改善サイクルを確立し、課題に正対した取組を進めてきています。特に、この3年間はコロナ禍の中、運動の機会が減っているとの報告もありますが、留萌市内の各学校においては、授業以外での運動の機会を工夫して見出すように努めており、この点にかかわる影響は限定的なものとなっていると考えます。

体力合計点における全国平均値との比較では、小学校男子と女子はやや上回りましたが、中学校男子と女子は共にやや下回りました。種目別に見ると、小学校・中学校男女合わせて32種目中15種目が全国を上回る結果となりました。（昨年度は、32種目中12種目）スポーツ庁の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」では、体力合計点における全国平均値は、昨年度と比較して低く、平成30年度を境に低下傾向に転じているとしています。原因としては、①コロナ禍により運動時間が減少し、まだ以前の水準に至っていない ②肥満傾向である児童生徒が増加している ③朝食欠食、睡眠不足、スクリーンタイム（テレビ、スマートフォン、ゲーム機等の視聴時間）の増加など生活習慣が変化している などのほか、マスク着用中の激しい運動の自粛なども考えられると述べています。留萌市の結果においても、体力合計点を昨年度と比較すると、小学校男子と中学校男子が向上していますが、上記の②肥満傾向である児童生徒の割合 ③スクリーンタイム などは依然として全国・全道と比べて多い状況にあります。

子どもたちが、運動の楽しさや大切さを実感し、自分の生活スタイルを見直すなどの意識を高めるとともに、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する基盤を養うことができるように、保健体育の学習の工夫・改善をはじめ、日常生活の中で運動に親しむ機会の確保、学校行事や部活動との関連性を生かした指導の推進など、様々な場面を通して体力・運動能力の向上や運動習慣の定着に向けた取組を充実させていくことが重要です。そのためには、学校だけではなく、家庭や地域の皆様との連携・協働が必要になります。今後も、各小中学校と教育委員会において、体育・健康等に関する指導の充実と課題の解決に努めて参りますので、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。